

扶桑町生涯学習基本構想

今日、「人生100年時代」や、働き方の変化に伴う自由時間の拡大などを背景に、生涯の各時期において人々の学習する意欲が向上するとともに、「超スマート社会（Society5.0）」に向けて、新たな知識や技術を習得する必要性が高まっています。

町民の皆さんが「いつでも、どこでも、だれでも」生涯を通して、自発的に学び続けることができ、生きがいを持って快適な人生を送ることができるよう体制を整えていかなければなりません。

この基本構想は、町民一人一人の生涯学習を総合的に支援することを目的とし、その実現のための考え方や基本的な方策などを示すものです。

基本目標

独自の文化が溢れる生涯学習のまちづくり

「独自」には、

- ① 自分ひとり
- ② 他と異なり、そのものだけに特有であること

という2つの意味があります。扶桑町では、「独自の文化」を「住民一人一人の文化」と「扶桑町特有の文化」という2つの面からとらえ、生涯を通して自分を豊かにする生涯学習を進めています。

そこで、目標を達成するために、「人づくり」「環境づくり」「つなぎづくり」の3つの観点から、「いつでも、どこでも、だれでも」学習機会を得ることができる「生涯学習のまちづくり」をすすめます。

「人づくり」……学ぶ人・学びを支える人を育てたり、支援したりすることで、住民主体の生涯学習を進めることができます。

「環境づくり」……学習情報の提供、学習機会の紹介や充実、伝統文化の継承、学びの雰囲気づくり、生涯学習関連施設の充実等を検討し、町民が学習したいときにいつでも学べる場の設定を行います。

「つなぎづくり」……「人」と「環境」をつなぐだけではなく、人と人、人と地域、地域と地域、さらには親から子、子から孫へと世代を超えて伝統や文化などを「つなぎ」、その「つなぎ」を結びつけ、「つくり」上げるものです。

このように、扶桑町民一人一人の学びのパワーを基本として、「人づくり」「環境づくり」から生まれた様々な学びの「つなぎ」を「つくる」ことが生涯学習であり、「独自の文化」を育むものだと考えます。

学校教育の充実
生涯学習の推進

生涯スポーツの推進
芸術・文化活動の充実

ふれあい交流活動の充実
青少年の健全育成
女性の社会参加の拡大

独自の文化

住民一人一人の文化
扶桑町特有の文化

